学校番号	２１８

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語発展	2	２年次	FACTBOOK　English Grammar Standard、Work Book、コーパス 3000 など

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語を習得するためには、どのような学習方法が効果的でしょうか。英語の音楽や映画を楽しむこと、または外国人と交流する機会を持つことは確かに有益です。しかし、これらの方法だけでは、言語の本質的な理解が不足することがあります。英語の「発展」を目指すためには、まず「語彙」と「文法」の習得が不可欠です。これらの基礎知識がなければ、英語を「読む」、「聞く」、「話す」、「書く」ことは困難です。

この授業では、１年次に学んだ基礎となる文法を再確認しながら、関連する語彙と共に体系的に学びます。様々な英文を通じて理解を深め、学んだ知識を活用して「自分の言いたいこと」を表現する力を養いましょう。英語の「発展」を目指すためには、基礎からしっかりと学び、実践を通じてスキルを磨くことが重要です。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・日常的なあいさつや簡単な指示を理解することができる。 ・日常的に必要なことがらについて、内容を聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校などの身の回りのことに関する短い会話や説明を聞き、挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。	・日常生活で使われる英語の中の語句や簡単な文章を理解することができる。 ・基本的な語句や表現で書かれたごく短い物語を読み、挿絵や写真を参考にしながらあらすじを理解することができる。 ・身近な事柄について簡単な英語で書かれたごく短い説明を読み、挿絵や写真を参考にしながら概要を理解することができる。	・相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。 ・相手のサポート（ゆっくり話す、繰り返す、簡単な語句に言い換えるなど）があれば、ごく身近なトピックについて、簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。	・簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の気持ちや考えなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・自分についての基本的な情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 ・ごく身近なトピックについて、簡単な語句や文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	語彙、表現、文法等の理解を深めたうえで、これらの知識を実際のコミュニケーションの場面において適切に活用できる段階までに到達する。	日常的・社会的な話題に関して書かれた英文の構造を適切に理解する。また学んだ項目を活用して自分の伝えたいことを適切に表現する。	自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとするとともに、共通の目標に向かって他者と協同して取り組む態度を身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	文型(1) 文型(2) 時を表す表現(1) 時を表す表現(2) 完了形（1）	聞くこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に聞き取ることができる。 b: 英語特有の発音やアクセント、単語と単語のつながりに注意して聞き取ることができる。 c: 重要な情報を適切に聞き取れるように努めている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に理解する。 b: 述べられている情報を整理して、要点を理解する。 c: 重要な情報を適切に理解できるように努めている。	小テスト 定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を身につけて、話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 適切に伝わるようにペアまたグループにおいて協同して努める。	スピーキングテスト
		話すこと （発表）	a: 必要な語彙、表現、文法等を使って、改まった場面においても話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 習得した項目を使って適切に表現できるように努めている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を使って書けるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて書けるようにする c: 習得した項目を使用して適切に表現できるように努めている。	小テスト 定期考査
	中間考査			
	完了形（2） 助動詞（1） 助動詞（2） 助動詞（3） 受動態(1)	聞くこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に聞き取ることができる。 b: 英語特有の発音やアクセント、単語と単語のつながりに注意して聞き取ることができる。 c: 重要な情報を適切に聞き取れるように努めている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に理解する。 b: 述べられている情報を整理して、要点を理解する。 c: 重要な情報を適切に理解できるように努めている。	小テスト 定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を身につけて、話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 適切に伝わるようにペアまたグループにおいて協同して努める。	スピーキングテスト
		話すこと （発表）	a: 必要な語彙、表現、文法等を使って、改まった場面においても話せるようにする。	スピーキングテスト

			b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 習得した項目を使って適切に表現できるように努めている。	
		書くこと	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を使って書けるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて書けるようにする c: 習得した項目を使用して適切に表現できるように努めている。	小テスト 定期考査
	期末考査			
2 学期	受動態(2) 不定詞(1) 不定詞(2) 不定詞(3) 動名詞(1)	聞くこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に聞き取ることができる。 b: 英語特有の発音やアクセント、単語と単語のつながりに注意して聞き取ることができる。 c: 重要な情報を適切に聞き取れるように努めている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に理解する。 b: 述べられている情報を整理して、要点を理解する。 c: 重要な情報を適切に理解できるように努めている。	小テスト 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を身につけて、話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 適切に伝わるようにペアまたグループにおいて協同して努める。	スピーキングテスト
		話すこと (発表)	a: 必要な語彙、表現、文法等を使って、改まった場面においても話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 習得した項目を使って適切に表現できるように努めている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を使って書けるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて書けるようにする c: 習得した項目を使用して適切に表現できるように努めている。	小テスト 定期考査
	中間考査			
	動名詞(2) 分詞(1) 分詞(2) 比較(1) 比較(2)	聞くこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に聞き取ることができる。 b: 英語特有の発音やアクセント、単語と単語のつながりに注意して聞き取ることができる。 c: 重要な情報を適切に聞き取れるように努めている。:	リスニングテスト
		読むこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に理解する。 b: 述べられている情報を整理して、要点を理解する。 c: 重要な情報を適切に理解できるように努めている。	小テスト 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を身につけて、話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 適切に伝わるようにペアまたグループにおいて協同して努める。	スピーキングテスト
		話すこと (発表)	a: 必要な語彙、表現、文法等を使って、改まった場面においても話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 習得した項目を使って適切に表現できるように努めている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を使って書けるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて書けるようにする c: 習得した項目を使用して適切に表現できるように努めている。	小テスト 定期考査
	期末考査			
3 学期	仮定法(1) 仮定法(2)	聞くこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に聞き取ることができる。 b: 英語特有の発音やアクセント、単語と単語のつながりに注意して聞き取ることができる。	リスニングテスト

			c: 重要な情報を適切に聞き取れるように努めている。	
		読むこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に理解する。 b: 述べられている情報を整理して、要点を理解する。 c: 重要な情報を適切に理解できるように努めている。	小テスト 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を身につけて、話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 適切に伝わるようにペアまたグループにおいて協同して努める。	スピーキングテスト
		話すこと (発表)	a: 必要な語彙、表現、文法等を使って、改まった場面においても話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 習得した項目を使って適切に表現できるように努めている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を使って書けるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて書けるようにする c: 習得した項目を使用して適切に表現できるように努めている。	小テスト 定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度